

平成 30 (2018) 年度第 5 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会
議事概要

日時：平成 31 (2019) 年 1 月 10 日 (木) 14:00~17:30

場所：阪南大学図書館 4 階 館長室

出席者（敬称略、順不同）：

大阪大学附属図書館	井上敏宏
関西学院大学図書館運営課	服部耕一郎
京都大学附属図書館	小松原記子
神戸大学附属図書館	山崎真知子
福知山公立大学総務企画・財務グループ	足立斉
京都市立芸術大学連携推進課	角田敏昭
同志社大学図書館	山口伊都代
京都文教大学図書館	大浦伸子
阪南大学研究部図書館	堤俊哉
大阪体育大学図書館	那須浩子

以上 10 名

配付資料：

- 1 開催通知
- 2 平成 30 年度第 4 回能力開発専門委員会議事概要
- 3 講師との事前打合せメモ
- 4 平成 31 年度「中級研修」運営委員会提出関係書類案等
 - ① 企画提案書（企画提案）
 - ② 費用概算（企画提案）
 - ③ 開催通知（募集資料）
 - ④ 募集要項（募集資料）
 - ⑤ 日程表（企画提案）
 - ⑥ 機関別推薦書・受講申込書
 - ⑦ 選考結果（受講決定）（お断り連絡）
 - ⑧ 受講者の皆様へ（受講決定）
 - ⑨ 講師委嘱状
 - ⑩ 講師同意書
- 5 平成 31 年度「中級研修」実施準備資料
 - ① 研修関係スケジュール表
 - ② 役割分担
 - ③ ToDo リスト
 - ④ 当日までに準備するもの
 - ⑤ 食堂&喫煙所マップ
 - ⑥ 配布資料構成
 - ⑦ 研修司会原稿
 - ⑧ 情報交換会司会原稿（配付なし）

- ⑨ 研修記録の保存等について
- 6 平成 30 年度能力開発専門委員会開催検討資料
 - ① 開催日程検討資料
 - ② 開催会場検討資料
- 7 その他
 - ① 研修会場について
 - ② 次期主査について（配付なし）
 - ③ 能力開発専門委員会活動報告について

・ 議事に先立ち以下を確認した。

- 1) 資料 2 の前回議事を含め、配付資料について確認した。

議題

1. 平成 31 (2019) 年度「中級研修」企画提案書および各種文案について

1) 講師との打合せについて (12/6)

足立委員から、資料 3 に基づき、12 月 6 日に開催した講師打合せについて報告があり、内容を確認した。また打ち合わせより後日に、講師を担当するプロクエスト社から、講座タイトル修正を含む幾つかの提案があった旨、説明があり、提案内容について協議した。

①講座タイトルの修正案等

研修全体のサブタイトルを含め、各講座、ワークショップのタイトルを協議した。結果は以下のとおり。

- ・ 研修サブタイトル：「企業に学ぶ：マーケティングの視点から大学図書館の存在感を高める方法」
- ・ 講座 1：「マーケティングの基礎 — 実践から学ぶ知識・技能領域」
- ・ 講座 2：「なぜオーストラリアの大学図書館は学内地位が高いのか？～歴史的経緯と維持の取り組み～」
- ・ 講座 3：「事例紹介：国際大学松下図書・情報センターにおける学生を活用した学内地位向上の取り組み～図書館員とマーケティングの視点から探る成功の鍵～」
 - 講座 3 については担当講師が未確定のため、（仮称）とし講師確定後、講師本人と相談することとする。その際「学生を活用した」という表記について、見直しを依頼することとした。
- ・ ワークショップ：「大学図書館における学内地位向上のためのマーケティングプラン作成」

②能力開発専門委員会委員を対象にした模擬ワークショップの開催

ワークショップの実施手順を確認するため、今年度内、2月下旬から3月上旬までの期間に、能力開発専門委員会（以下、「本委員会」と言う。）委員を対象とした模擬ワークショップ開催の提案があり、以下の条件が満たされる場合に開催する方向で開催日程を調整することとした。また、プロクエスト社への連絡にあたって、ワークショップの対象となる大学図書館は、架空のものとする本委員会にて決定した旨を伝えることとした。

- ・ 参加者が5名以上いること
- ・ 参加者の所属機関で会場が確保できること

2) 文書案の検討（運営委員会提案に向けて）

角田主査から資料4-1、4-3、4-4、4-5に基づき、次回の大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会（以下、「運営委員会」と言う。）において、本委員会から提案する文書の説明があり、内容を確認した。協議の結果、以下の点を踏まえて修正し、次回運営委員会に付議することを承認した。

- ・ 本日の協議を踏まえ、講座タイトル等を修正する。
- ・ 年度の表記は、和暦を用いず、西暦に統一する。
- ・ 主催者挨拶等の開会関連は10分間とする。
- ・ 開会挨拶と事務連絡は、あわせて10分間とする。
- ・ 閉会後の休憩及び会場移動（30分）を会場館自由見学の時間にあてる。

また、小松原委員から資料4-2に基づき、次回中級研修において必要となる費用について説明があり、概算を確認した。協議の結果、配布資料作成にかかる費用について指摘事項を踏まえて修正し、次回運営委員会に付議することを承認した。

3) 研修の体制について

(1) 受講申込ウェブフォーム

山口委員から資料4-6に基づき、機関別推薦フォーム及び受講希望者個人それぞれのウェブフォームについて説明があり、内容を確認した。協議の結果、年度表記を西暦のみに修正し、かつ個人記入フォームの「研修対象者区分」の選択肢にあった記載漏れを修正し、次回本委員会にて確認することとした。

(2) 受講決定及び不採択等の案内

山口委員から資料 4-7、4-8 に基づき、受講の決定等通知の文案について説明があり、内容を確認した。協議の結果、以下の点を踏まえ修正し、次回本委員会にて確認することとした。

- ・ 資料 4-8 の「5. 図書館広報資料の持ち寄りについて」は、次回の中級研修は 1 日開催で時間の余裕がないため、実施しない。よって、記述を削除する。

なお、本委員会の問い合わせ先となるメーリングリスト (ini-kenshu@kinkiinitia.org) の登録委員について修正の必要があるため、山口委員から運営委員会事務局に連絡することとなった。

(3) 講師への依頼

足立委員から資料 4-9、4-10 に基づき、講師への依頼状等文案について説明があり、内容を確認した。協議の結果、講師担当にて後日、文案を完成させ、運営委員会事務局に発行を依頼することとした。

(4) 今後のスケジュール及び委員会役割分担

角田主査から資料 5-1 に基づき、スケジュールの確認があり、今後の予定を確認した。運営委員会から賛助会員に案内する有料広告の募集について、広告締切日は講師原稿と同様、2019 年 4 月 5 日とすることとした。

また資料 5-2 に基づき、本委員会の役割分担についての確認があり、それぞれ内容を承認した。

(5) ToDo・当日までに準備するもの・会場案内及び配付資料の構成

井上委員から資料 5-3 に基づき、継続的に ToDo を管理・更新している旨の報告があり、内容を確認した。あわせて、資料 5-4、5-5 に基づき、当日までに準備するものリストと会場及び周辺の地図等について報告があり、内容を確認した。開催に向けて引き続き、会場担当が内容を精査することとした。

さらに、資料 5-6 に基づき、当日の配付資料（テキスト）の構成について確認した。協議の結果、以下の方針にて構成することとした。

- ① 表紙には平成 29 年度中級研修に倣い、サブタイトルを記入する。
- ② 年度はすべて、西暦にて表記する。
- ③ 標題紙には、平成 30 年度初任者研修に倣い、「配布資料一覧」とした目次を付ける。

- ④ 受講者名簿に記載する項目は、通し番号、氏名、よみ、大学名及び班とし、情報交換会の出欠は記載しない。
- ⑤ 平成 29 年度中級研修及び平成 30 年度初任者研修のような講師紹介ページは作成しない。
- ⑥ 平成 28 年度初任者研修の際に掲載した、募集要項及び受講申込書（個人記入）は掲載しない。
- ⑦ 賛助会員一覧、広告、能力委員名簿・奥付は平成 29 年度中級研修及び平成 30 年度初任者研修に倣い、この順で掲載する。
- ⑧ 表紙及び裏表紙の色は、今後追って検討する。

(6) 司会原稿

那須委員から資料 5-7 に基づき、当日の司会進行について説明があり、内容を確認した。協議の結果、指摘事項を踏まえて修正し、次回本委員会にて確認することとした。

- ① 配布資料確認：座席表を確認する。なお、座席表は班単位での指定とし、班内の座席は自由席とすることとした。（2人がけ机×3本=6人：1班）
- ② 配布資料確認：アンケートについて、プレゼン技法を実地で学ぶよう心掛けるため、各講座を評価する必要がある旨、注意喚起する。なお、アンケート結果は、研修終了後に集計結果をウェブサイトで公開する旨、講師担当から講師に伝えておくこととした。
- ③ 図書館広報資料の持ち寄り今回は今回、行わないので、昼休憩時に案内しない。
- ④ 閉会の委員長挨拶は行わず、司会者が閉める。

また司会内容とは別に、大学図書館近畿イニシアティブ 10 周年記念で開催した「感謝の集い」にて配布したクリアファイルについて、まだ残部があるか小松原委員が運営委員会事務局に確認することになった。

(7) 情報交換会司会

大浦委員から口頭にて、情報交換会の進行について確認があり、協議の結果、開会の挨拶は運営委員会委員長に依頼し、閉会の挨拶は運営委員会委員に依頼することとした。

(8) 研修記録の保存について

角田主査から資料 5-9 に基づき、標記について確認した。なお、ワークショップ成果物について、次回中級研修ではメモ一枚のみなので、保存しないことを確認した。

2. その他

1) 研修会場について

角田主査から、資料 7-1-1 及び 7-1-2 に基づき、2020 年度以降の研修会場に関する問題について、次回運営委員会への付議が提案され、協議の結果、原案通り問題提起することを承認した。

2) 次期主査について

角田主査から、標記について口頭で説明があり、本委員会にて今後、検討を続けることとした。

3) 能力開発専門委員会活動報告について

角田主査から資料 7-3-1 及び 7-3-2 に基づき、次回運営委員会に報告する事項について説明があり、内容を確認した。協議の結果、原案通り承認した。

4) 次回（平成 31 年度第 1 回）能力開発専門委員会

角田主査から議事次第に基づき、標記について説明があり、協議の結果、次回の本委員会は以下のとおり開催することとした。

日時：2019 年 4 月 25 日（木）

会場：関西学院大学図書館

議題：平成 31 年度「中級研修」について

以上